

校長先生の日記⑩

R6.7.3

梅雨の晴れ間は、蒸し暑くて大変です。普段からカラッとした気候の中で過ごしている長野県民にとって、湿気は天敵です。それでも子どもたちは、元気いっぱい学習に、活動に取り組んでいます。夏休みまであと13日になってしまいました。キャンプの準備や職場体験の準備、夏休みの計画もありますね。残りの1学期も充実した日々になりそうです！

信濃小中では全校集会が充実しています！

信濃小中学校では、水曜日の清掃をなくして、生徒会主催の集会や縦割り、初等部の元気っ子活動など、集会が行われます。毎回、毎回とっても楽しくてためになる集会が行われます。1年生から9年生までみんなで楽しむことができます。



この日は、学校の清掃について、環境についてクイズに答えながら、振り返りをしました。みんな植えたサツマイモがこんなに大きくなってみんな大喜び。しかし、植えた直後は雨がなく、9年生のみなさんが朝からせっせと水やりをしてくれた成果です。9年生のみなさんありがとう！そして掃除の振り返りは「間違い探し」をしながら行いました。黙想はなぜするのか？掃除道具を丁寧に扱うとか、ついつい忘れがちな大事なことを改めて気づかせてくれました。今日の掃除の移動は、本当に静かでした。この集会の効果が早速見えました！

それにつけても、この企画の内容を考えたり、動画やクイズを制作したりしてくれる9年生のみなさんのセンスの良さには毎回驚かされます。全校児童生徒の年齢幅の大きな本校は、集会の内容や言葉の使い方など本当に難しいと思うのですが、どの学年も楽しめるように、そして分かるように構成している9年生には、本当に頭が下がります。こうやって、先輩がしてくれたことが、次の学年にしっかり受け継がれていくから、こんないい学校になるんだなと集会に参加する度に思います。これからの集会も楽しみです！



これは、4年生が計画を立て、実施した1～4年生の縦割り活動「元気っ子」の様子です。4年生もみんなが楽しめるように計画を立て、当日は自分たちの司会で活動を進めます。この日は新聞紙を使ってグループでできるだけ高い塔を作ろうという競争でした。みんなで新聞を丸めて棒を作り、上手に組み合わせて塔を作っていました。なかなかうまく立たずに終了直前に倒れてしまうなんてハプニングに見舞われる班もありましたが、みんなで協力して楽しむことができました。すでに4年生も立派に会を進行していて、これも9年生のみなさんのおかげかなと思います。

音楽鑑賞教室がありました

今年は、「オペラアンサンブル・ブオーチェ」のみなさんによる歌唱をみんなで鑑賞しました。有名なオペラの一場面や「ニャー」しか言わない曲など、ソプラノ、アルト、テナー、バスそれぞれの魅力がよく分かる曲をたくさん聞かせていただきました。「私たちもあんなふうに歌いたいね」と秋桜祭の音楽会に向けて、目標をもつことができました。本物を聞くとやっぱり大切ですね！





教科書って本当にすごいんだよ！

先日先生たちが研修を受けた「教科書の使い方」を子どもたちも勉強しました。教科書を作っている「教科書研究センター」というところから、先生をお招きして教えていただきました。はじめに教わったのは、この教科書は、未来を生きる子どもたちのために「無料」で配布されているということ。だから教科書を大切に使って、しっかり勉強しようという気持ちにまずなることができました。そしてそれから教科書の中身について、工夫されていることを見つけました。「絵が分かりやすく書いてあるよ」「実験の方法がわかるような写真が載っているよ」「勉強する順番がもう書いてあるよ」などたくさんの工夫点を見つけることができました。新しい教科書は、動画もみられるようになっていたり、より深く学べるようなヒントもたくさん載っていたりします。これからは、個別最適な学びを実現していかなければなりません。そのためにも、まずは教科書を上手にを使って、自分でも学べる子どもたちを育てていきたいと思えます。そしてもっともっと学びたい子どもたちにはさらなる深い学びを提供できるような授業づくりに取り組んでいきたいと思えます。



七夕ですね

体育館に向かうスポーツストリートに竹が設置されて、自由に短冊が書けるようになっていました。生徒会が設置してくれました。「高校に合格したい」というような本格的な願いごとかから、「3億円ほしい」なんていう願いごとまで、様々です。鎖を作るように折り紙も細く切られて置いてあります。誰かが作った鎖にまた誰かが紙をつないで、次の日見たら大分長くなって竹に飾られていました。こんなちょっとした「心のつながり」が「嬉しい」につながって、また明日も学校に来たくくなりますね！



藍染めの工房に行ってきました

昔から古海地区では藍染めが盛んに行われていたのだそうです。その伝統を復活、継承しようという工房に地域探検クラブのみなさんと一緒に行ってきました。藍を育て、その葉を発酵させるとあの「藍色」ができるのだそうです。その染色液に布を何回も何回も入れては洗い、入れては洗いを繰り返すことで、様々な「藍色」に染まるのだそうです。みんなの作品も全く同じ色はありません。体験ができるそうです。夏休みにぜひ挑戦してみてください。